



京都大学外科学教室

肝胆膵・移植/小児外科, 消化管外科, 乳腺外科

ROB 募集説明会

4つのアピールポイント

Point 1 自由に選べるキャリアプラン



肝胆膵・移植外科/小児外科
教授 波多野 悦朗

😊 京都大学外科の最大の魅力は、多様性を重んじる校風のため、様々な人がいることです。そのため「必ず自分のロールモデルとなる先輩に巡り会える」ことでしょう。肝胆膵移植外科/小児外科では、ラバ胆から肝移植、膵移植、小腸移植まで幅広い症例を経験できます(2022年 高難度肝胆膵手術 234例のうち高度技能修練医が145例執刀)。さらに大学院は、臨床dutyが3ヶ月のみに設定しているの、研究に集中した環境にあります。



消化管外科
教授 小濱 和貴

😊 京都大学外科は、多くの先生方が考える「大学の医局」とは大きく異なり、「伝統的に後輩の教育を重視する「心理的安全性」の高い組織」です。さらに京都大学の「自由」の学風に基づいて、自分でキャリアを自由にデザインできます。京都大学消化管外科では、最先端のロボット手術を含めた低侵襲手術を極めることができます。何よりも「京大同門」での多様な人のつながりは皆さんの大きな財産であり人生の味方です。一緒に働けることを楽しみにしています!

Point 3 消化器外科医の働き方改革に積極的に取り組む

消化器外科医 育休取得



外科医は、育休が取りにくいと思われませんが、教授自ら育休・有給取得を勧めるなど男性/女性問わず、休みが取りやすい「環境づくり」を実践しています。

キャリア支援診療医の雇用



週何日、何時間働くかを自由に設定でき、個々の状況に応じて勤務を継続できる環境を整えています。

働き方改革セミナーの開催



京大外科関連施設で、働き方改革の取り組みを共有し、京大外科グループ全体で、外科医の労働環境改善に取り組んでいます。

Point 4 ダイバーシティな環境でキャリア形成ができる

京大外科の魅力を聞いてみた

病院講師 H16年卒 / 男性



京都大学外科教室の特徴は、「多様性への寛容」です。みんな違って、それで良い。みんな違うからこそおもしろい。多種多様な個性が協調すると強い能力が発揮できると考えています。君の輝ける場所がきっと見つかる! 京都大学外科教室へようこそ。

キャリア支援診療医 H16年卒 / 女性



他の施設では経験できないような高度な手術に携われ、知識・技術共にキャリアアップできます。その一方で、子供の行事や病欠などに融通を利かせていただいているため、仕事と子育てのいずれもとても楽しみながら進んでいきます。どの上司も理解が深く、3人の子育てをしながらも仕事とのバランスをうまく取りやすい仕事環境です。

第1回 募集説明会

4/26 土

13:00~ WEB開催
17:15~ ZOOM 情報交換会



第2回 募集説明会

6/7 土

13:00~ 現地開催
17:15~ 情報交換会